

⑫ つづき(北)の紅葉を訪ねる 資料 2019年11月13日 島田

中川駅



中川駅周辺は、「ネオ・ロマンチック」をイメージした街づくり協定が結ばれていて、落ち着いた色調の集合住宅などが建ち並んでいます。

また、ピンクの郵便局、筍をあしらったベンチや彫刻「集う人々」(愛媛県在住の零駒無蔵作)などがあり、歩行者専用道路にはガラスのドームが鎮座し多くの方々から地域のランドマークとして親しまれています。

それに駅舎の2階が老人介護施設となっているのもユニークなところです。

零駒無蔵(ぜろこまむそう)

久万高原の森の中でイメージした「いってんもん」の作品を創作する彫刻家で本名春駒英一郎さん(49歳)という。東京生まれの東京育ちですが、現在は林業に携わりながら、愛媛県久万高原町の古民家で、陶芸家の奥様麻亜子さんと、幼稚園に通う娘の鈴ちゃんとの山暮らしです。



四国に来たのは27歳の時、スケッチ旅行で来た香川県の庵治町が最初である。その頃は、絵描きを目指していて、仕事を1ヶ月休んで、世界的彫刻家であるイサム・ノグチさんのアトリエの近くで山の上にある築100年のボロボロの古民家を借り、四国の風景を描いていた。

そこで彫刻に出会うのであるが、偶然としか言えない出来事からです。

若いもんが昼間からぶらぶらしていると、近所の人があまりいい顔をしない。それで、近くに住んでいた彫刻家が「自分のところで働いていることにしたら」と誘ってもらった流れで、そのまま弟子入りすることになったというわけです。

作品の特徴は、もとは石彫家でしたが、久万高原町に来てから、木と石の両方を組み合わせた具象の作品を作っています。

零駒無蔵(ぜろこまむそう)という作家名は、その時の師匠の空充秋(そらみつあき)が「本名の春駒英一郎は、なんだか歌舞伎役者みたいだ」と言って付けたものである。

山崎公園

山崎公園は、レクリエーションの場を提供する公園と「せせらぎ計画」に沿って地として流や池を設けて雨水貯留施設としての機能公園は、大きく造成されと現況林に被われた山の



ン活動と自然とのふれあして整備されました。また、緑道(牛久保水系)の水源有ります。池や運動広場は能を持っています。平坦部の“施設化ゾーン”部分の“保全用ゾーン”に

分かれています。

“施設化ゾーン”は池・運動広場・水遊戯施設などを配置し、外周部はエゴノキ、クイヌギなどを中止とした雑木林を作っています。運動広場周辺にはソメイヨシノ、池の護岸にはハナショウブ、管理棟屋上にはコニファーなどの植栽が行われています。水遊戯施設は、水と大地の広場、屋外プール施設からなり新小松石の石積擁壁に囲まれ、水遊戯の拠点となるゾーンになっています。

“保全用ゾーン”は、「緑の環境を最大限に保存する街づくり」として現況林の裾部にはサクラ類を中心とする樹林がつくられ園路沿いや休憩小広場などの周囲は花木を植栽されています。

山崎公園の名前の由来ですが、「荏田の地名」（吉野孝三郎著）によりますと、「崎」は前（さき）先（さき）で山の前をいうとのこと。

水と大地の広場

この設計コンセプトは、人間が初めてこの地と出会った時の新鮮な感動を「かたち」にすることで、この地第一ページを開こうと

「大地」が断層・褶皺を繰り返し、風や水や流された、「初源的なかたこの公園を利用する



に新たになる歴史のしています。

曲（しゅうきょく）をれによって作りだち」を表現することは、人々が、現在と過去と

の時間の連続性を取り戻すことで、新たなる出会いの場となることを意味しています。

そうした形を細やかに表現する素材として水、植物、木、石、陶器、金属、ガラスを選びました。例えば、石はその塑性や形状の中の自身の歴史を持っています。山の石、河の石、海の石など、石には風や水によって刻まれた歴史の違いが表情に現れます。そうした石が一つ一つ積み埋め込まれるので擁壁や地層文様となります。これらの素材や形と人々を結びつけ、モノとの係わりの中から新しい歴史を作り出して行く役割を持っています。そして出来上がった「と大地の広場」は、有名なスペインのアントニオ・ガウディを思わせる作品に仕上がっている。

アントニオ・ガウディ



彼は、スペイン生まれで19世紀から20世紀にかけてバルセロナを中心に活動した。サラダ・ファミリア（聖家族教会）・グエル公園・カサ・ミラを始めとした作品は、アントニオ・ガウディの作品群としてユネスコの世界遺産に登録されています。

「せせらぎ」

都筑区には、今回散策します「くさぶえのみち」「ふじやとのみち」など6ヶ所の「せせらぎ」があります。それらどのせせらぎも谷戸の景観を生かして斜面には樹木が植えられ、水が流れるせせらぎがあり水辺には花々が咲いています。また、必ず公園があり「池」が配置され鯉や亀、カモが泳いでいます。

この様な素晴らしいせせらぎが出来たのには理由があります。それは港北ニュータウン

計画の中に「せせらぎ全体計画」とい

うのがあり細部にわたって計画されていたからです。

その中からポイントをピックアップしてみます。

- 緑の環境を最大限に保存するとして、雑木林や竹林、神社・仏閣が文化財の一部として保存されている。
- 緑道に「水」を導入することで緑道沿いの「緑」と調和することができる。
- 水源は、池に貯留し雨水を放流することを中心にし、ポンプによる循環、盲暗渠や井戸からの補給などと組み合わせる。
- 施設として、「池」「せせらぎ」「植栽」「藤棚・ベンチ・古い民家の移築などの他施設」その計画を実現する方法は、次のようなことでした。

くさぶえのみち予定地になった谷の南側台地の尾根を削って、その土で谷を埋め立て勾配6%の平場をつくりました。その平場をせせらぎが流れる緑道としたのです。台地の土を、下の谷に直接ブルドーザーで削り落とすと、斜面にある樹木を痛めますので、削った土はスクレーパーで、樹木のない場所を選んで運んだのです。



徳生公園

中央には大きな人工池があり「くさぶえのみち」で牛久保公園、牛久保西公園、山崎公園、と、「ふじやとのみち」で神無公園、山田富士公園と結ばれています。

かつてこの人工池では町内会・近隣マンション自治会・ボランティアなどで行われるお祭り「水辺の祭典」が毎年9月半ばごろに行われていました。

ステージでは、近隣の小中学校の児童・生徒やアーティストなどが歌やダンスなどを披露していました。また日がくると、池に子供たちが作った灯籠が流され大変賑わっていました。が、運営委員の高齢化のため残念なことに数年前中止となってしまいました。



また、池には沢山の亀や鯉が泳ぎ、冬には何種類もの鴨が飛来。白鷺やゴイサギも飛んでいました。カワセミがいる池として多くのアマチュアカメラマン

が集いシャッターを切っていました。

それが一昨年テレビ東京が行いました池の水を全部抜く「かいぼり」のお陰でしょうか、昨今では亀も鯉も少なくなり、鴨やサギなどもわずかになり、カワセミも来なくなり誠に淋しい池になってしまいました。

小椋佳

東京大学法学部卒業後、日本勧業銀行に入行。銀行マンの傍らで音楽活動を行っていました。歌手デビューしたのは、1971年。

1966年、寺山修二がDJをしていたラジオ番組の「5分間なんでもコーナー」で自作の歌を歌うに、寺山が企画していた天井桟敷のLP『初恋地獄』に参加した。これを日本グラモフォン（後のポリドールレコード）の新人プロデューサーが聞いていいたのがきっかけであった。



新人プロデューサーは当時のことを次のように述懐している。

- ・喫茶店であったが一目見て銀行員で結婚していて、とても歌手という風貌ではないのでどう断って帰ろうかそればかり考えていた。
- ・小椋君が「僕の曲、聞いてくれる？」というので断るわけにもいかず聞いたら、思わず「この曲、私がなんとかするから私にくれ！」と叫んでいた。その曲が『しおさいの歌』だった。

デビューは、1971年、『青春 ～砂漠の少年～』というアルバムである。新人歌手がアルバムでデビューするのは珍しいが、「アルバムで世界観を創る」というプロデューサーの方針で実現したのです。

最初のヒット曲は、布施明に提供した「シクラメンのかほり」であった。

その後も次々にヒット曲を世に送り出した。芸名の「小椋」は、大学3年生の時に法律の勉強で福島県耶麻群北塩原村の学生村に約2ヶ月間滞在中、周りの住民の姓のほとんどが「小椋」姓であったことにより命名したものだと言います。2014年、NHKホールで「4日間連続の歌が重複しない100曲コンサート」という名の生前葬を行っています。山田富士

昔、都筑区の地域では、富士山信仰が盛んでしたので、7基の富士塚がありました。今でも残っているのは山田富士の他に「池辺元富士」「川和富士」です。

富士塚とは富士山を模して築かれた人工の山のこと。本物の富士山に登るのはなかなか難しい時代のこと、この富士塚に登ることによって同じ霊験を得ようと、人々の信仰の対象となって、各地に築かれたのです。

山田富士は、「新編武蔵風土記」に登場し1800年代にはすでに存在していたという古い歴史を持っています。また、デ型（噴火による堆積物が火で形成された円錐状の火山）“吉田口”の二つがあり頂上出来ます。頂上部の周囲にはていて、古くから信仰の地です。標高46mの頂上から山々が見え、北側には国際プールが見えます。



富士山に倣って美しいコニーロの周囲に積もっていくことです。登山道は“御殿場口”には噴火口がありお鉢周りもお地蔵様や小さな塚が祀られあったことを窺（うかが）わせは本物の富士山や丹沢、武相の

十二支の石

夏ミカン公園の近くにある「ふじやとのみち」の始まりからゴールまでほぼ等間隔に「ね、うし、とら・・・」と十二支の石が時計回りに配置されています。特に意味があって造られた訳ではありません。ニュータウンを開発した住宅都市開発公団（当時）の粋な計らいで、子供達の集合の目印になるようにです。また、風で飛んできた花の種が入って根を張り、花を咲かせようという「遊び心」で石の上に穴をあけたのです。石は、福島県三春町（あるいは浪江町）で採掘された御影石の一種青鍋石です。

